

埋蔵文化財センターでは、道路工事や新たな建物の建設に先立って発掘調査を実施し、調査の成果をまとめた発掘調査報告書を刊行することによって遺跡の記録保存を行っております。  
今回は、昨年新町前遺跡で行った発掘調査の成果と現在行っている作業についてご紹介します。

## 新町前遺跡について

市川三郷町市川大門にある新町前遺跡は、甲府盆地の西部、芦川と笛吹川が合流する地点に近い場所で県立市川高校の敷地内にあります。当センターでは、昨年度に発掘調査を行い、その結果、10世紀前半～15世紀にかけての遺跡であることが判明しました。

10世紀から12世紀（平安時代）には、50軒の竪穴建物跡や川跡から、大量の土器や鉄製品などが発見されました。また一部の竪穴建物跡では、鍛冶炉や鞴羽口（炉に空気を送るための道具）といった鍛冶にかかるものが見つかり、鉄製品を製作・加工していた集落であることがわかりました。

15世紀（室町時代）には水田跡が見つかり、その中から青磁や白磁といった高級品が発見されるなど富裕層との関わりがみてとれます。

また、どちらの時代でも河川の氾濫の痕跡が見つかりました。度重なる水害と戦いながら生きてきた先人たちの生活が発掘調査により明らかになりました。

### 整理作業のお部屋

発掘調査を行った市川三郷町の新町前遺跡。現在は発掘調査報告書の刊行に向けて動いているようです。

それでは、調査を担当した御山文化財主事に遺跡や現在の作業についてインタビューしてみましょう！

Q1. 新町前遺跡はどんな遺跡でしたか？

御山：新町前遺跡は今から約1,100～600年前（平安～室町時代）にかけての遺跡です。発掘調査で竪穴建物跡に暮らす平安時代の人々の集落と、室町時代の水田が見つかりました。平安時代の集落では、鍛冶に関する遺物がたくさん見つかったので、鉄器加工に精通した集落だった可能性があります。水田からは、青磁や白磁が多く見つかりました。当時の青磁・白磁は中国製の高級品なので、権力者との関わりが考えられます。

Q2. 現在はどんな作業をしていますか？

御山：遺跡の発掘調査の成果（記録）は、出土品や記録図面、写真等の整理作業を経て「発掘調査報告書」を刊行して公開します。現在は、発掘調査報告書の刊行に向けて、出土土器の破片をつなぎ合わせる接合作業を経て、出土した土器の形を図化する作業を行っているところです。

Q3. 整理作業ではどんな成果が期待できますか？

御山：整理作業で出土した土器を机の上に広げてみると、灰釉陶器や緑釉陶器といった高級品の多さに驚きました。この地域で暮らした人々の生活様式が思った以上に高いことから、この地域の歴史的な重要性を再認識、再検討する必要があります。

Q4. 最後に、今後の意気込みをお願いします！

御山：新町前遺跡がある市川三郷町市川大門地域は、これまで遺跡の存在がまったく知られていなかった地域です。その地域にこれだけの密度の遺跡があったことは、これらの地域の歴史構築にとても重要な成果になります。今後の地域史の発展と継承のために、調査成果の取りまとめに全力で取り組んでいきます。



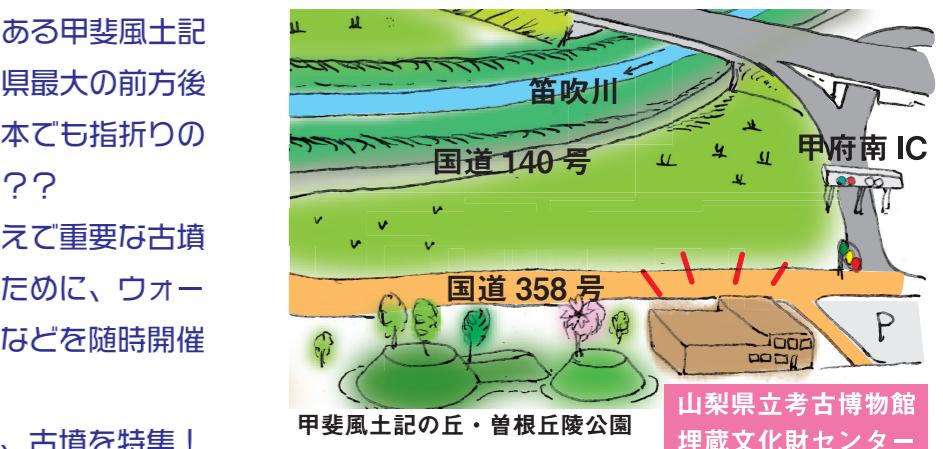
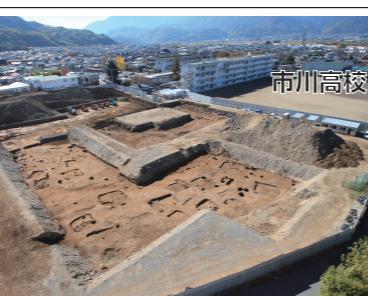
### 編集後記

7月6日に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に認定されましたね。日本の古墳もついに世界デビューかと思うと嬉しくなります！今号で取り上げた山梨の古墳も魅力にあふれていますよ！「世界」とまではいかないですが「山梨遺産」として知ってもらえば幸いです！（き）

埋文やまなし60号  
発行 山梨県埋蔵文化財センター  
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923  
☎ 055-266-3016  
印刷 株式会社嶽南堂印刷所

### イベント情報

イベント名	開催場所	開催日	参加無料
マチナカ博物館	イオン甲府昭和	9月15日（日）	
ひらけ玉手箱	国史跡甲府城跡	11月3日（日）	
県民の日イベント 古墳ツアーハウス	甲斐風土記の丘 曾根丘陵公園	11月20日（火）	



# 周辺の古墳

## 曾根丘陵公園



甲府盆地の南側に位置する曾根丘陵には、数多くの遺跡が存在します。

なかでも、山梨県埋蔵文化財センターがある甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園とその周辺には、山梨県最大の前方後円墳である甲斐銚子塚古墳をはじめ、東日本でも指折りの古墳が集まっていることを知っていますか？？

当センターでは、山梨県の歴史を語るうえで重要な古墳や発見された出土品を身近に感じてもらうために、ウォーキングイベントや、子ども向けのイベントなどを随時開催しています！

というわけで今回の『埋文やまなし』は、古墳を特集！これを読めば、あなたも古墳博士になれるかも！？

